

第47回ICANN報告会  
2017年1月19日

# 次回新gTLD募集に向けて

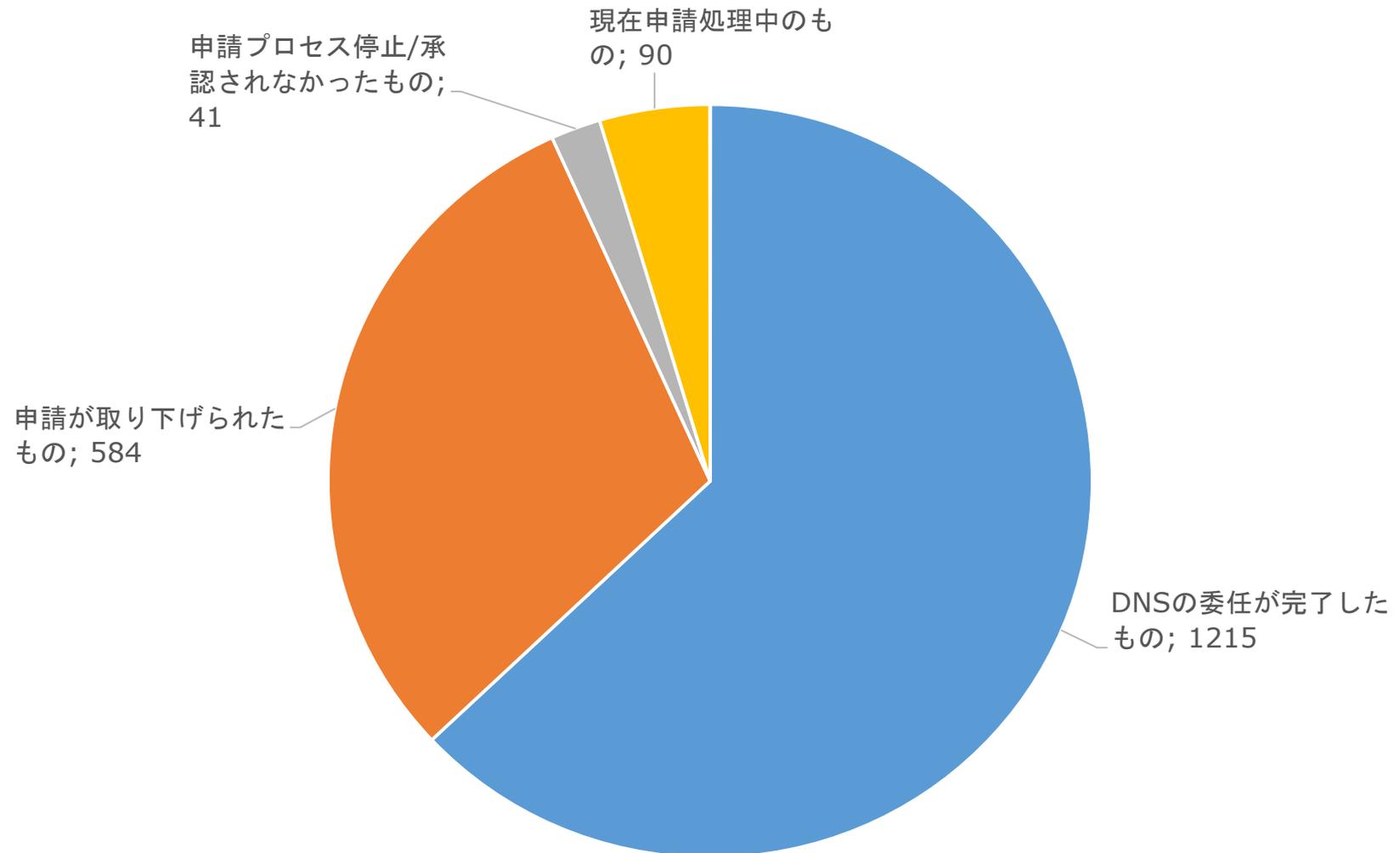
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
インターネット推進部  
山崎 信



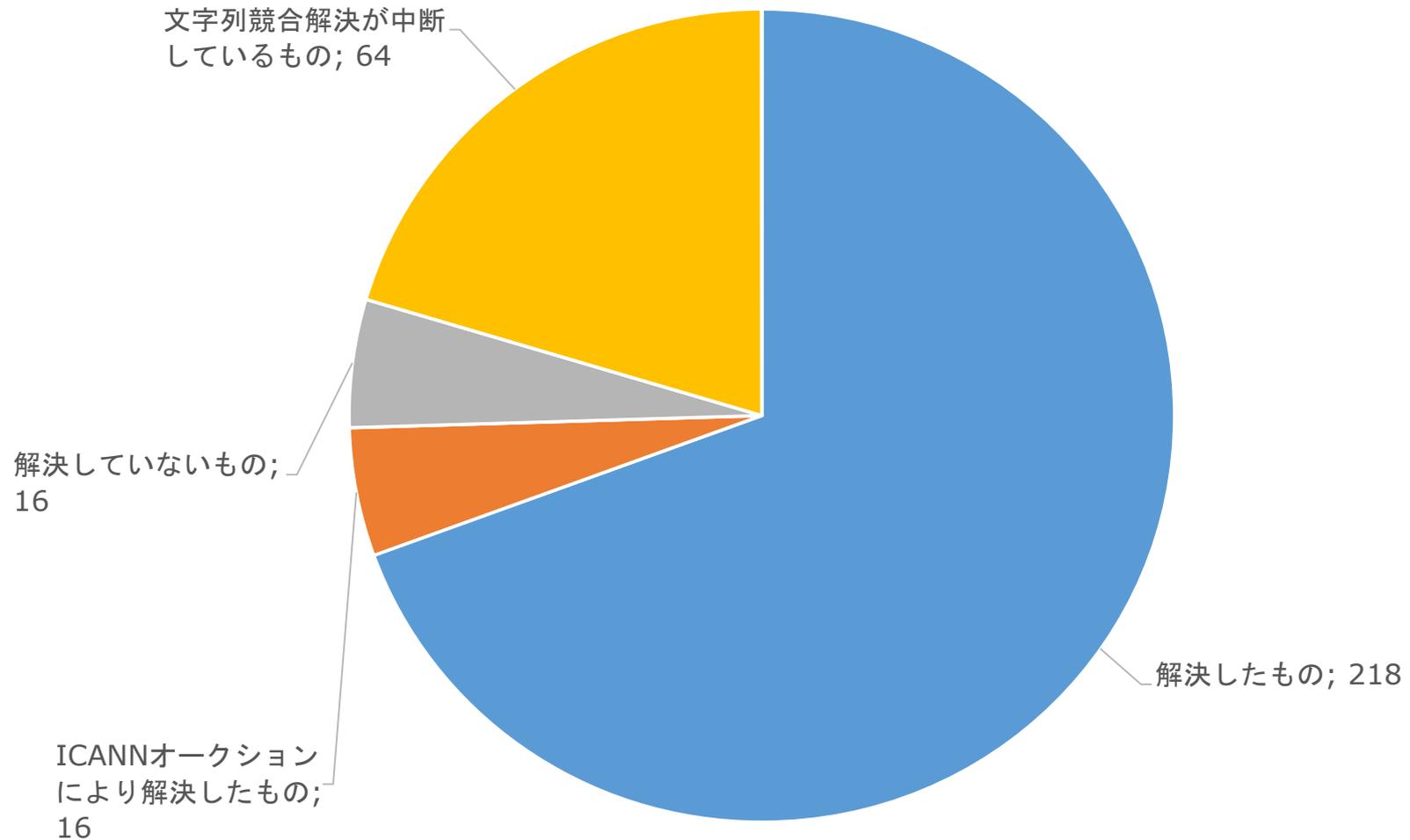
# 現ラウンド新gTLDの状況

2012年に募集し、現在まで追加中のgTLDについて

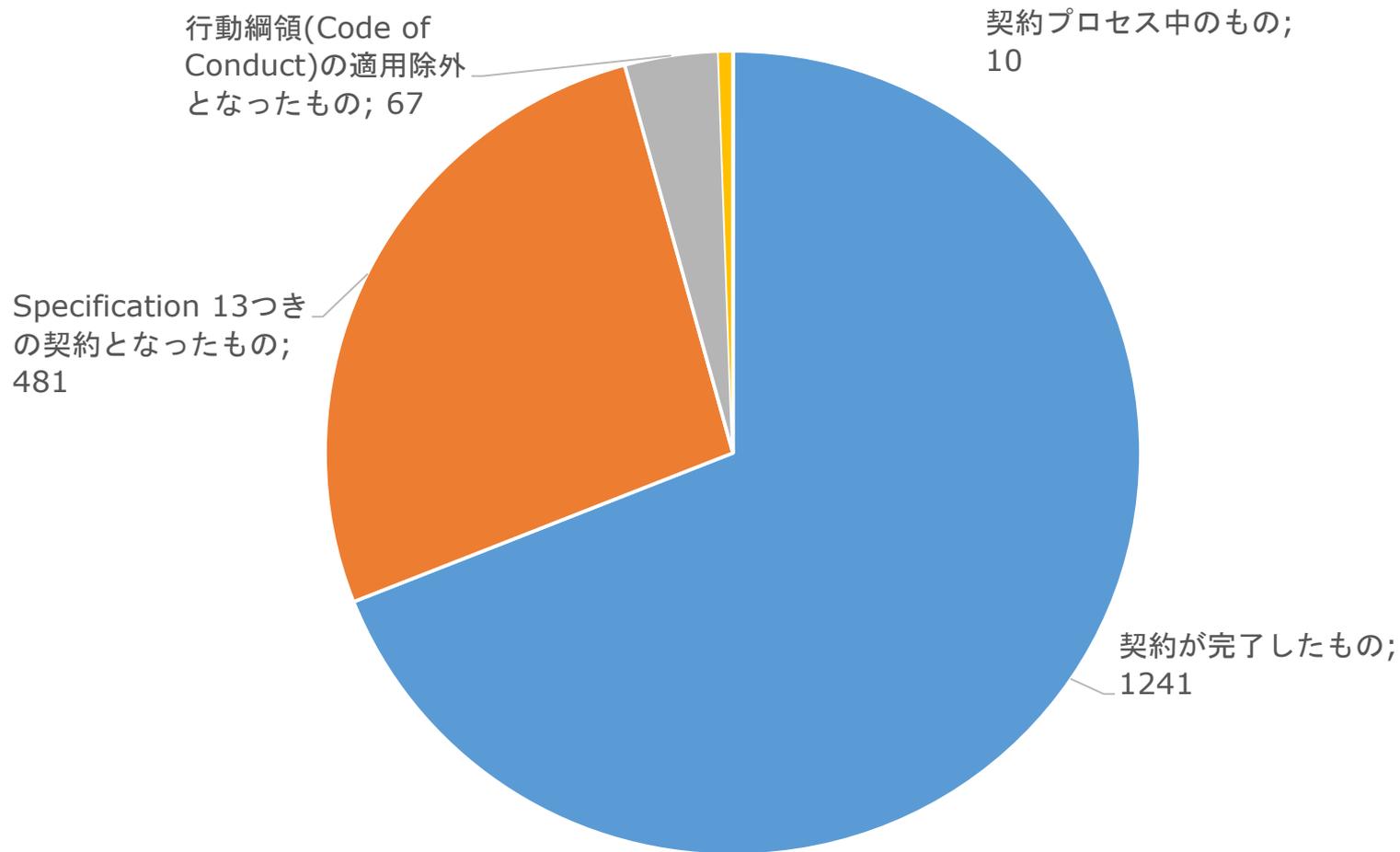
# 申請の処理状況（2016年12月31日現在）



# 文字列競合の解決状況



# レジストリ契約の種別・状況



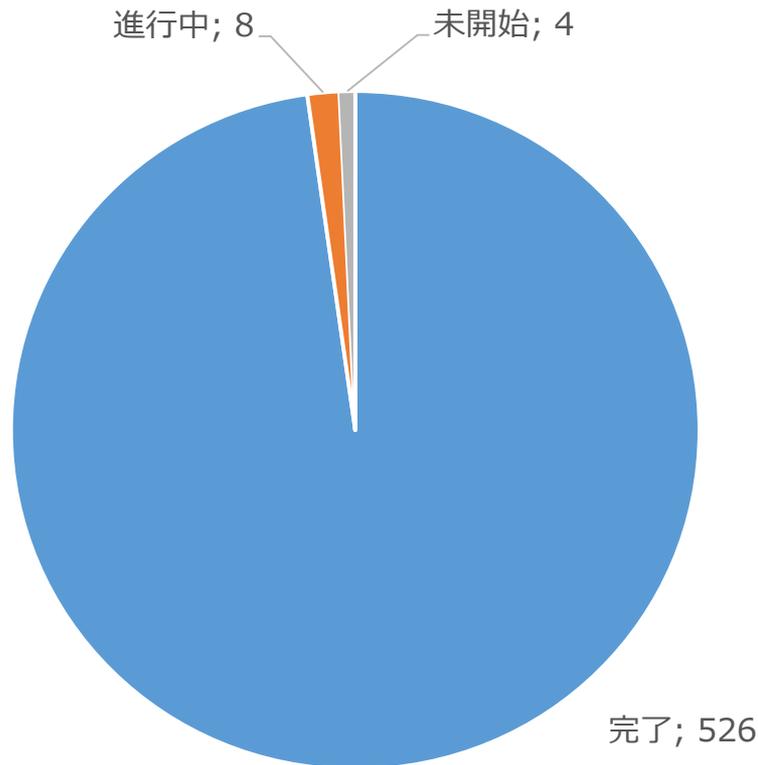
# 委任されたgTLDの種別内訳

| 種別             | gTLD数 |
|----------------|-------|
| コミュニティベース      | 51    |
| 地名             | 49    |
| 国際化ドメイン名(IDNs) | 92    |

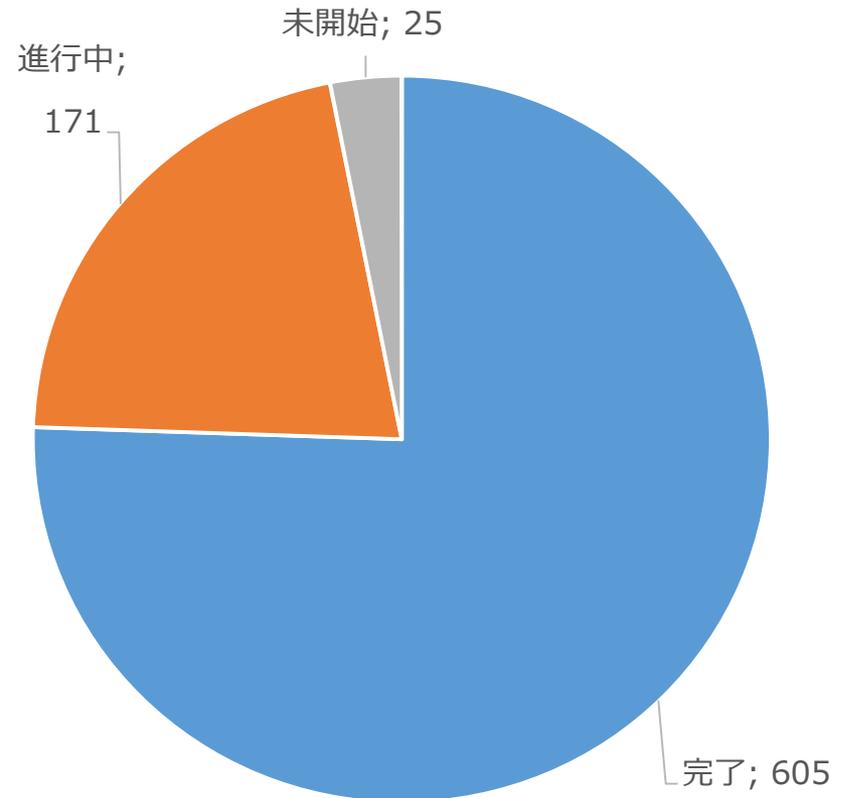
- 重複あり
- 全ての委任済み新gTLD数は1,215

# gTLD開始(サンライズ, TM Claims)状況

サンライズ



TM Claims



# 新gTLDプログラム評価

---

- **評価項目**
  - 競争・消費者からの信頼・消費者の選択(CCT)
    - 新gTLDプログラムの実装
    - DNS Abuse
    - 知財権利保護(Rights Protection)
  - Trademark Clearinghouse
  - ルートサーバーシステムの安定性

# 次期新gTLD募集ラウンドの動向

New gTLD Subsequent Procedures PDP WGの動向を中心に

# 次期新gTLD募集手続きポリシー策定プロセス検討WG

---

- **WGの目的**

- 既存（2007年8月8日制定、2012年の募集ラウンドで使用）の新gTLD導入に関するポリシー勧告を変更する必要があるかどうか検討する
- ポリシー勧告を元に申請の詳細について規定された申請者ガイドブックを策定することになる

- **日本からのWGメンバー（敬称略）**

- Jacob Williams (Individual)
- Michael Flemming (IPC)
- Rafik Dammak (NCUC)
- Yoshitaka Murakami (RySG)

# 【参考】オリジナルのポリシー勧告の概要

- 原則
  - 秩序があり、タイムリーで、予測可能な導入方法
  - 運用基準をレジストリ契約中で明記
- 勧告
  - 公平・透明・無差別な評価・選定
  - 既存の法的権利を侵害しない文字列評価プロセス
  - 公序良俗に反しない文字列
  - レジストリに十分な技術的な能力を要求
  - 客観的かつ計測可能な基準による明解な申請プロセスを事前に公開
  - 紛争解決および異議申し立てプロセスをプロセス開始前に規定
- 実装ガイドライン
  - 文字列競合の解決プロセスを設定

# スケジュール



- 2016年2月に開始
- CC1: 第1回意見招請(Community Comment 1)は2016年8月に終了
- CC2: 第2回意見招請(Community Comment 2) 対象：
  - 支持組織(SO)
  - 諮問委員会(AC)
  - ステークホルダーグループ(SG)
  - GNSO配下の関係者部会(C)

# WGの検討体制

---

- **月2～4回程度電話会議を開催**
  - ハイデラバード会議では対面会合開催
  - WT毎の電話会議も月1～2回開催
- **4つの作業トラック(Working Track, WT)に分かれて検討**
  - WT1: 全体プロセス、サポート、アウトリーチ
  - WT2: 法規制関係／契約のあり方
  - WT3: 募集実施方法／文字列競合／紛争解決
  - WT4: 技術・運営事項(含Universal Acceptance、IDN)
- **各WTに向けて設定された質問、および検討状況は以下のスライドに記載**

# WT1:全体プロセス、サポート、アウトリーチ

---

- **途上国からの申請者サポート**

- 2012年ラウンドの申請者援助プログラム(Applicant Support Program)振り返り

- **申請評価費用**

- 額の適切さ、TLD種別により可変とするか、等

- **申請待ち行列**

- **申請期間**

- 3ヶ月は適切か？固定申請期間設定は適切か？

- **登録システム**

- **コミュニケーション**

- **申請者ガイドブック**

# WT2：法規制・契約のあり方(1/2)

- **基本レジストリ契約**
  - 単一vs.複数種別
  - 英語のみvs.複数言語
  - ブランドTLDを別契約とするか
- **セカンドレベル知財権利保護(RPM)**
- **予約名 (トップレベルおよびセカンドレベル)**
  - 維持？縮小？増加？
- **申請者保護**
  - 緊急時バックエンドレジストリ運用者 (EBERO)は 今後も必要か？
- **IGO/INGO保護**

# WT2：法規制・契約のあり方(2/2)

- **排他的一般名詞(Closed Generics)**
- **申請時の取引条件(Terms and Conditions)**
- **レジストラにに対する差別禁止**
- **レジストリ・レジストラ間契約**
  - 多言語での契約書提供の有無
  - 契約におけるさらなる透明性が必要か？
- **TLDのサービス開始(Roll Out)：時期は適切か？**
- **契約コンプライアンス**
- **グローバル公益**
  - セーフガードおよび公益のための誓約に関するGAC助言など

# WT3: 募集実施方法／文字列競合／紛争解決 (1/2)

- **募集実施方法の選択肢**

- 2012年のような（一定の申請期間を設ける）募集ラウンドを実施
- 先着順プロセスに切り替え
- ハイブリッドアプローチ（予測可能なよう申請ラウンド実施予定を事前に決める）

- **募集実施方法の議論**

- 募集はレジストラ認定類似方法とすべき→賛否両論
- 上記選択肢のいずれかとする事による文字列競合や紛争解決への影響は？

# WT3: 募集実施方法／文字列競合／紛争解決 (2/2)

- **異議申立**
  - ポリシー勧告は異議申立者と登録者の双方にとって適切だったか？
  - 料金は適正か？
- **申請者における表現の自由**
- **コミュニティからの申請**
- **TLD文字列の類似性**
- **説明責任メカニズム**

# WT4：技術・運営事項(1/2)

---

- **IDN関連**

- 単一文字IDNは認められるべきか？
- 2012年ラウンドのようにIDN TLDの優先順位を他より上げるべきか？
- IDN等価文字(variant)はどのように扱うべきか？

- **Universal Acceptance**

- **申請者レビュー**

- 2007年の最終報告書では申請を評価する基準を設けず実装の段階で作成したが、次回は基準に関する手引きを提供する検討を行いたい
- 申請基準と評価プロセスをどのように進化させるべきか？

# WT4 : 技術・運営事項(2/2)

---

- **名前衝突(Name Collision; .home, .corp, .mail):**
  - 他に高リスク文字列はあるか？
  - 高リスク文字列の特定に使う方法は何か？
- **セキュリティと安定性**
  - ポリシー策定としてはそれほど必要とされないが、2012年ラウンドと同様の規模のTLDが追加されるなら分析・調査は必要。

# 参考

---

- **WGページ**
  - <https://community.icann.org/display/NGSPP/New+gTLD+Subsequent+Procedures+PDP+Home>
- **WGチャーター**
  - <https://gnso.icann.org/en/issues/new-gtlds/subsequentprocedures-charter-21jan16-en.pdf>
- **ハイデラバード会議での対面会合スライド**
  - [https://community.icann.org/download/attachments/63147381/ICANN57\\_F2F\\_28Oct2016.pdf](https://community.icann.org/download/attachments/63147381/ICANN57_F2F_28Oct2016.pdf)
- **2012年初頭の新gTLD募集**(ニュースレターNo.49)
  - <https://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/No49/0800.html>